

「クリーニングドクターの豆知識」その9

たった2分で分かる! 衣類の洗い方・洗剤の選び方 **前半編**

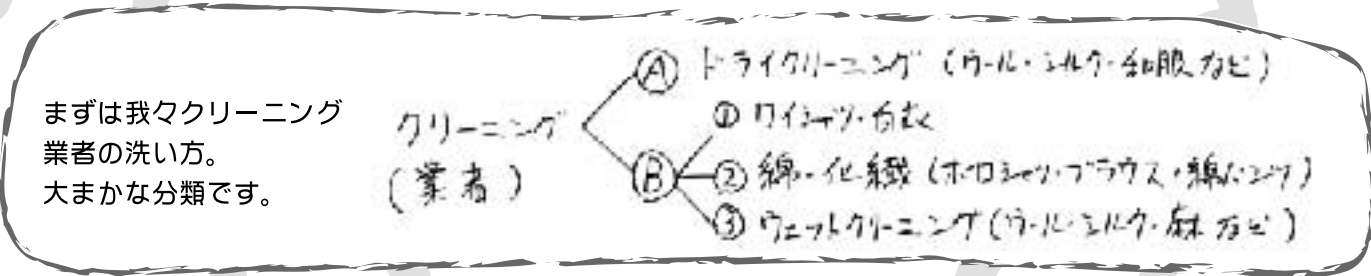
3月の会員更新の際に液体洗剤を進呈しました。そこで幾人の方と話をしてわかったことが2つあります。

- ①ほとんどの方がエマールやアクロンを使っている
- ②でもその洗剤の特徴や用途を理解はしていない。

恐らくCMを見てなんとなく買って、なんとなく使っているのだと思われます。花王は強い!

でもお金を払って買っているのに、洗剤の特徴もわからず、ただCMに流されて使うのはもったいのでは?

それに洗剤の話は、過去に2回程取り上げているのですが・・・そうか! 今までやってきたことは無駄だったのか、がっかりだよ(笑)それなら今回は今までと違うやり方で説明します。前半は「どのような洗い方があって、洗剤をどう使い分けるのか」。一度理解すれば、一生役に立ちます。興味のある人はぜひこの機会に。そうでない方は遠慮なく置いていきます。

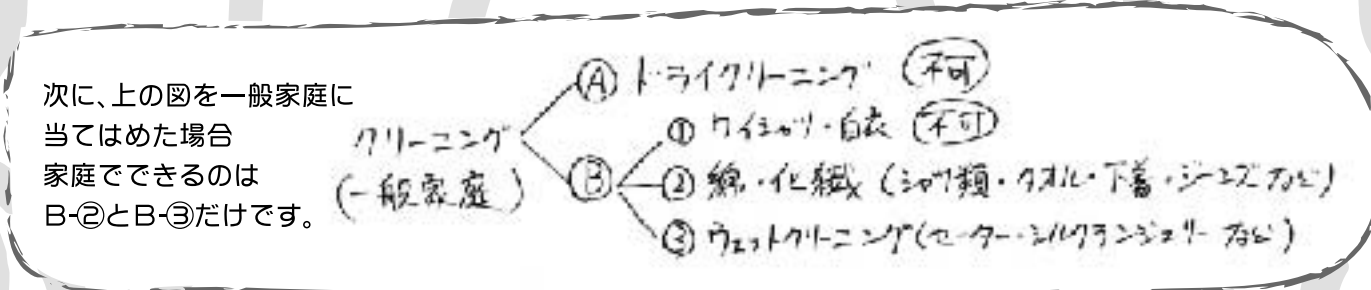


衣類を洗う方法はA:ドライクリーニングとB:水洗いの2種類しかありません。

A:ドライクリーニングとは水を使わず「溶剤」で洗う方法で、国家資格と専用設備のあるクリーニング店でしかできません。主にウールやシルク等の縮みやすい素材向け。または芯地やパットの入った立体的で型崩れしやすい衣類(スーツ・和服等)。

B:水洗いとは文字通り、水を使う洗い方すべて。我々業者の場合大きく3種類の使い分けをします。

- ①ワイシャツ・白衣=ワイシャツ専用洗剤と漂白剤で60度前後の水温で洗います。家庭では不可能な洗い方
- ②綿・化繊衣類=ポロシャツ・ブラウス・綿パンツ等 水温は常温~40度
- ③ウェットクリーニング=本来はドライで洗う繊維を、縮み・型崩れさせずに水で洗う特殊な洗い方。水温35~40度 技術・知識・専門の資材が必要。これができるクリーニング店と、できない店があります。



- ①ワイシャツ・白衣が不可としたのは、家庭で水温60度はちょっと無理という意味です。洗うなら②に該当します。
- ②家庭洗濯のほとんどがコレ。シャツ類・タオル・下着・ジーンズ・フリースなど。洗剤はアタック・アリエールなどの粉末洗剤。
- ③セーターなどを洗う場合。エマール・アクロンはつつで使います!! 手洗い、または洗濯機の手洗いコースで。

3月の更新で進呈した洗剤は、エマールやアクロンなどの「業務用」です。もちろん当店がB③ウェットクリーニングで使っている製品で市販はされていません。こんな特徴があります。

- ④市販品は香料が入っていますが、これは無香料です。香りには好みがあるし、香水を使う方にはじゃまになるだけです。
- ⑤天然のパーム油脂が主成分で、肌に穏やかです。すすぎは1回でOK。
- ⑥使った方は気が付いたでしょうが、洗い上がりの風合いが違います。家庭だと柔軟剤は必要ないと思います。当店では一斗缶(18ℓ)で購入していますが、ご希望の方には小分け販売いたします。エマールも悪い商品ではありませんが、業務用とは比較できません。



古川クリーニング

宮崎市瀬頭2-2-14
お問い合わせは

☎0985-22-7308